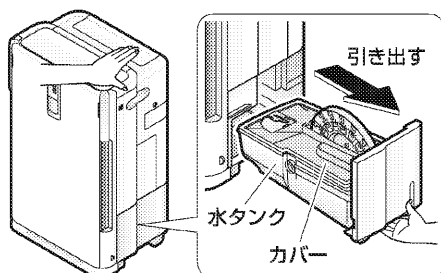
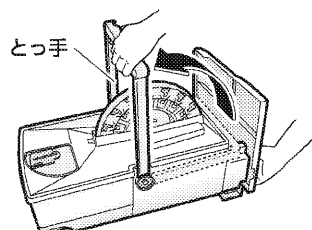
水タンクの準備（給水・排水のしかた）

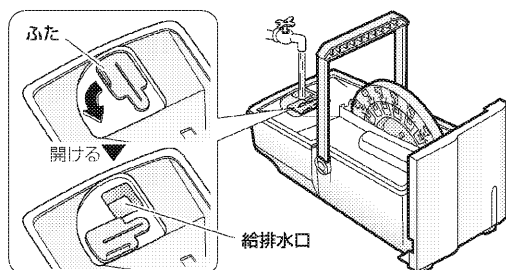
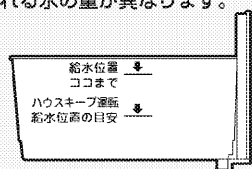
1 水タンクを外す。

- 本体上部を押えながら水タンク下部を持ち、ゆっくり引き出します。
  加湿・除湿運転後は、水タンクのカバーに水が残っている場合があります。
  勢いよく水タンクを引き出すと、水がこぼれる場合があるので注意してください。

2 とっ手を持って運ぶ。

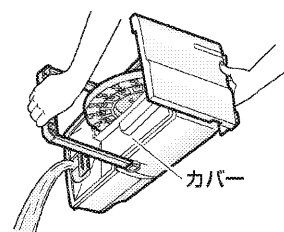
水の入った水タンクを運ぶときは、とっ手と水タンクの底をしっかり持ってください。

3 給水したいとき

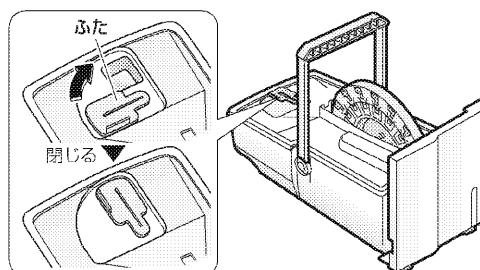
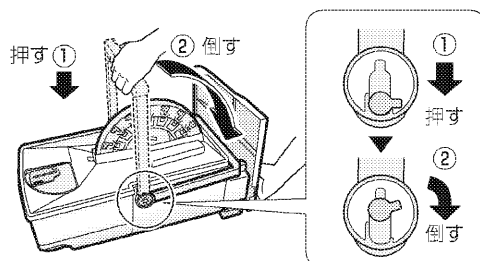
水タンクのふたを開けて水を入れる。

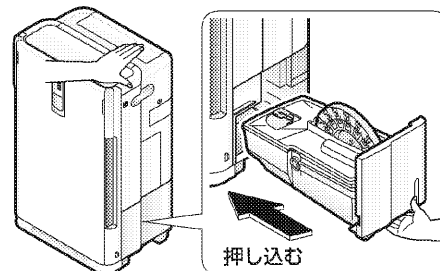
水道水以外は使わないでください。
（カビや雑菌が繁殖する原因）

- まわりが水でぬれてもよい場所で作業してください。
- **水車、水タンクを掃除してから水を入れてください。**
  お手入れ方法は ▶36ページ

入れる水の量について
ハウスキープ運転と加湿運転では、入れる水の量が異なります。

排水したいとき

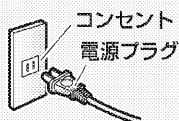
水タンクのふたを開けて水を捨てる。

- カバーは外さないでください。

4 給排水口のふたを閉じる。

- カバーがしっかり閉じていることを確認してください。

5 とっ手をもどす。

6 水タンクを取り付ける。

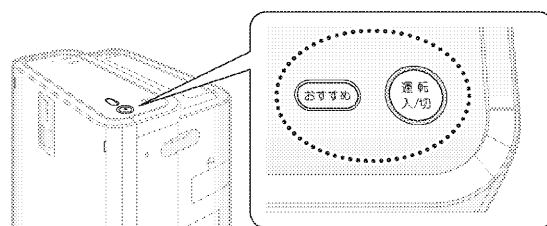
- 水タンクのまわりに付いた水気をふき取る。
- 本体上部を押えながら水タンクを本体の奥までゆっくり押し込む。

水タンクは奥まで確実に取り付けてください。
しっかり取り付けられていないと運転できません。

おすすめ運転

■電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 警告
- 電源プラグを抜いて運転を停止しない。（発熱による火災や感電の原因）

自動で運転内容を選ぶ

運転中に（おすすめ）を押すと、最適な運転内容に自動で切り換えます。

1 （運転 入/切）**を押す。**

操作パネルを開けた状態でも（おすすめ）を押すことができます。

2 （おすすめ）**を押す。**

- 約１分間お部屋の状態を確認し、最適な運転内容を自動で選びます。
  お部屋の状態を確認する間、センサーランプが順番に点滅していきます。（▶14ページ）
- 風量は自動になります。
- 操作パネルのふたを開けると決定した運転内容を確認できます。

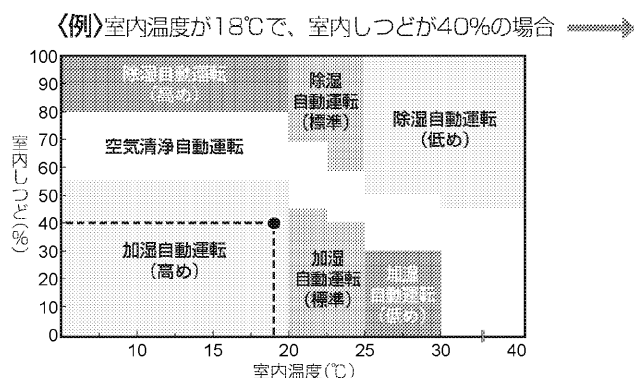
■停止したいとき

をもう一度押す。

- 運転を停止し、ランプが消灯します。

お知らせ

- （おすすめ）を押したときの空気の状態で運転内容を選びます。その後、定期的に室内の温度により目標しつどを変更します。（空気清浄運転は除く）運転内容を見直したい場合は、再度（おすすめ）を押してください。
- **除湿後に（おすすめ）を押して加湿になった場合、水交換ランプが点灯します。**（▶13ページ）

〔空気の温度・しつどと運転内容〕

運転内容	運転モード	風量	しつど
操作パネル表示	■ 加湿	■ 自動	■ 高め

⬇ その後、室内温度が22℃に上がった場合

運転内容	運転モード	風量	しつど
操作パネル表示	■ 加湿	■ 自動	■ 標準

空気清浄・加湿・除湿運転

お願い

- 運転中に本体を動かさないでください。水もれ、故障や誤作動の原因になります。
- 運転停止後も内部の部品保護のため数分間ファンが回転します。停止するまで、電源プラグを抜いたり前面パネルを開けたりしないでください。故障の原因になります。

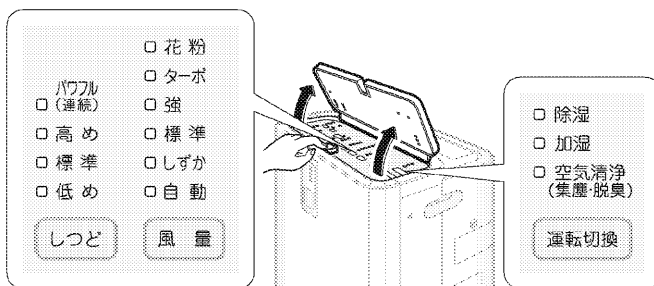
加湿・除湿運転時も、空気清浄運転を行います。(加湿・除湿の単独運転はできません。)

手動で運転内容を選ぶ

1 操作パネルのふたを開け 運転 入/切 を押す。

2 運転切換 を押して運転モードを選ぶ。

- 押すごとに運転モードが切り換わります。

空気清浄 ▶ 加湿 ▶ 除湿

3 風量 を押して風量を切り換える。

- 押すごとに風量が切り換わります。

自動 ▶ しずか ▶ 標準 ▶ 強 ▶ ターボ ▶ 花粉

自動運転

空気の汚れ具合に応じて、自動的に風量(「しずか」「弱」「標準」「強」)を調整します。

しずか運転

微風運転となります。
就寝中などの使用をおすすめします。

ターボ運転

大風量で空気の汚れをすばやく取り除きます。

花粉運転

5分ごとに風量が切り換わり、ゆるやかな気流をおこして、花粉が床に落ちる前にキャッチしやすくします。

4 加湿・除湿運転の場合は しつど を押して、お好みのしつどに切り換える。

- 押すごとにしつどが切り換わります。

低め(めやす 40%) ▶ 標準(めやす 50%) ▶ 高め(めやす 60%) ▶ パワフル(連続)

水タンクが空(満水)に近づくと給水(満水)ランプが点灯し、加湿運転(除湿運転)を停止しますが、空気清浄運転は継続して行います。

〈加湿運転〉

- 運転中は水車の回転により「ポコポコ」などの音がする場合がありますが異常ではありません。
- 加湿フィルターを必ず取り付けて運転してください。

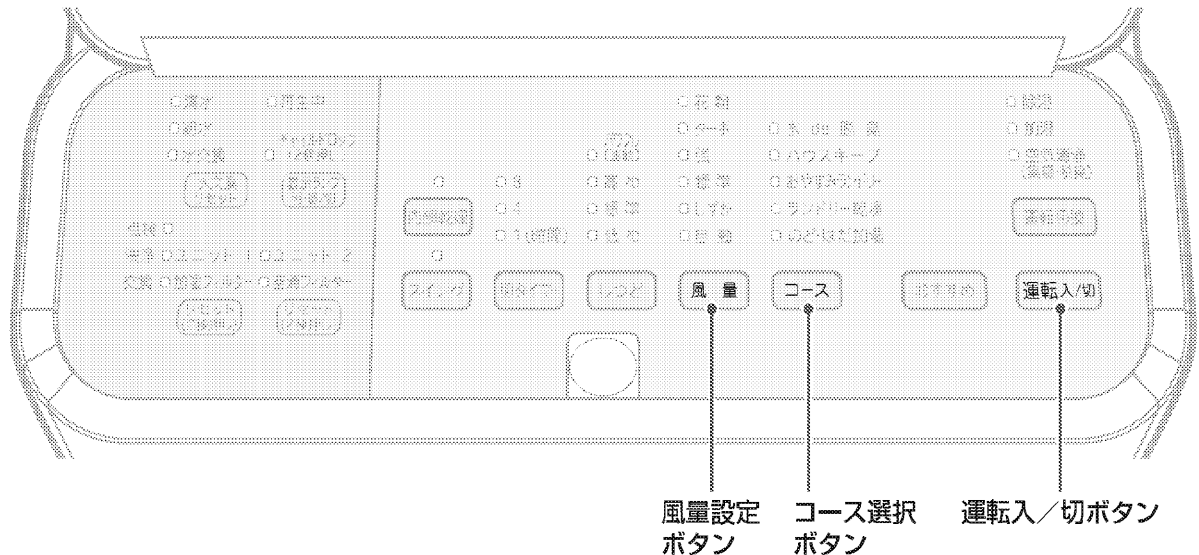
〈除湿運転〉

- **運転中はヒーターを使用するので、屋外温度やお部屋の広さによって差異はありますが、閉めきった場所で使われた場合、エアコンと違い3～8℃室内温度が上昇することがあります。**
- 空気清浄運転より運転音が大きくなります。

お知らせ

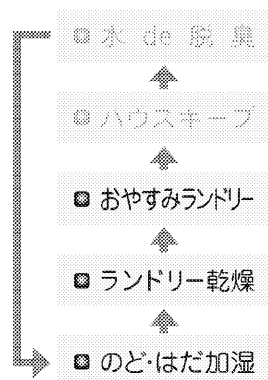
- 初期設定は、空気清浄運転、風量「自動」になっています。
  電源プラグを抜いた場合や、前面パネルを外して再度運転した場合は、空気清浄運転、風量「自動」にもどります。
- 次回運転時は、前回の運転内容で運転を行います。
- 加湿・除湿運転中に設定しつどに到達したり、満水・給水ランプが点灯すると、加湿・除湿運転は停止しますが、空気清浄運転はそのまま行います。
- 風量設定により加湿量、除湿量は異なります。

コースを選ぶ

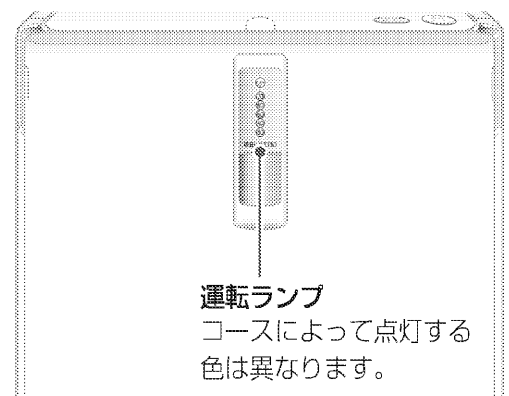
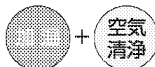
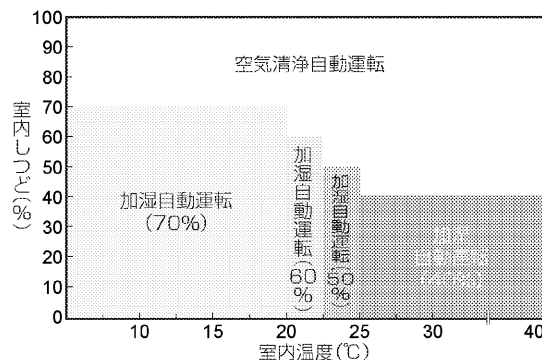
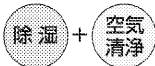
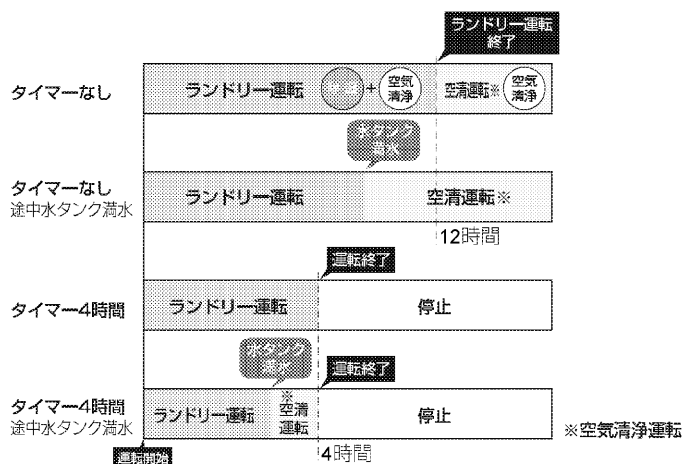
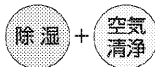
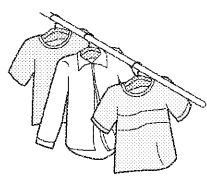
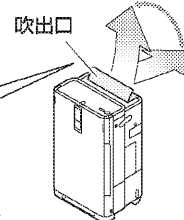
コースに合わせて自動で運転します。用途に合わせてコースが選べる便利な運転です。

操作パネル

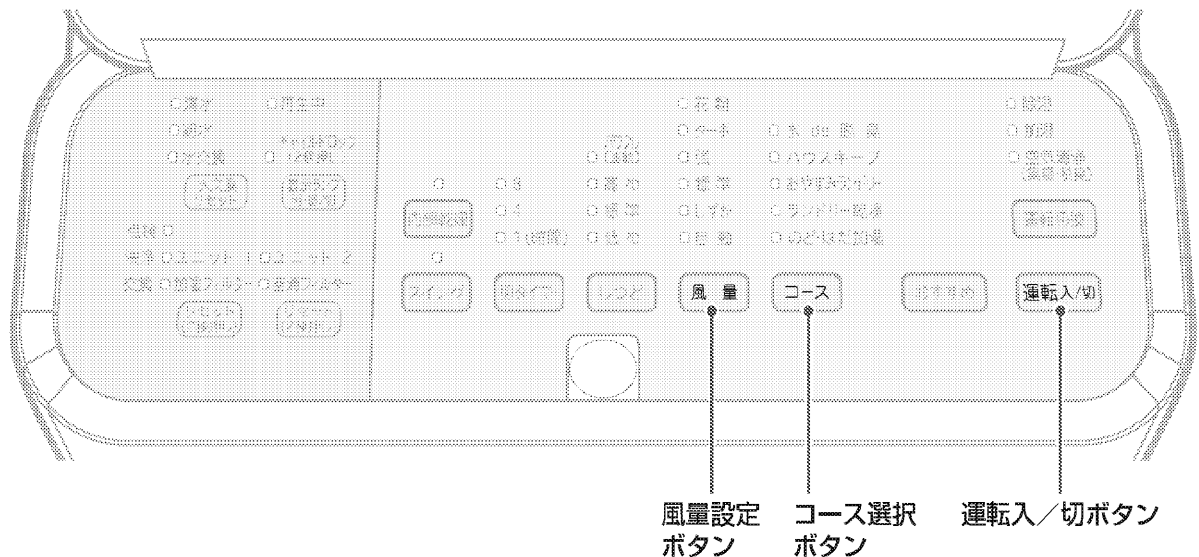
1 **操作パネルのふたを開け 運転 入/切 を押す。**

2 **コース を押す。**

●押すごとにコースが切り換わります。

●コース運転中は、しつど設定はできません。
●水 de 脱臭以外のコースは風量設定できません。

コース運転中に 運転切換 を押すとコース選択が解除されます。

運転ランプについて

	運転の内容	もっと詳しく
のど・はだ加湿	**室内温度に合わせて、のどや肌にやさしい高めのしつどになるように加湿します。** ◙ のど･はだ加湿 運転ランプ 橙 運転モード 風量 自動になります <おすすめ時期> 乾燥が気になる季節に	**室内の温度により、設定しつどを自動で選択します。** ● しつどが高い場合は、空気清浄運転、風量「自動」に切り換えます。 ● しつどを少し高めに設定しているため、屋外温度と室内温度の差が大きいと結露しやすくなります。 **■室内の状態と運転内容**
ランドリー乾燥	**大風量＋除湿＋スイングで、洗濯物を乾かしながらお部屋の空気をキレイにします。** ◙ ランドリー乾燥 運転ランプ 黄 運転モード ターボになります <おすすめ時期> オールシーズン	● 最大約12時間運転します。 お好みに合わせて、切タイマーと併用してください。 ● ランドリー運転終了後は、空気清浄運転、風量「自動」になります。 ● 水タンクが満水になるとランドリー運転を終了し、空気清浄運転に切り換わります。 ● 洗濯物へ全体的に風をあてると効果的です。 ● おやすみランドリーは、ランドリー乾燥よりも除湿機能が低いため、洗濯物の乾燥時間が長くなります。 **■ランドリー運転の動きについて**
おやすみランドリー	**就寝時や在室時に洗濯物を乾かすとき、運転音を低く抑えて除湿します。** ◙ おやすみランドリー 運転ランプ 黄 運転モード 標準になります <おすすめ時期> オールシーズン	 干すときのポイント 吹出口と衣類の間は40cm以上離してください。 ● ランドリー乾燥は、お部屋に人がいないときにご使用されることをおすすめします。

コースを選ぶ

コースに合わせて自動で運転します。用途に合わせてコースが選べる便利な運転です。

操作パネル

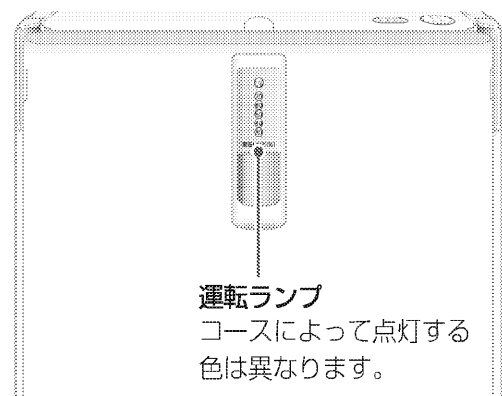
1 **操作パネルのふたを開け ［運転 入/切］ を押す。**

2 **［コース］ を押す。**

●押すごとにコースが切り換わります。

●コース運転中は、しつど設定はできません。
●水de脱臭以外のコースは風量設定できません。

コース運転中に［運転切換］を押すとコース選択が解除されます。

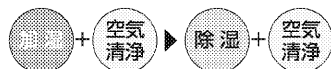
運転ランプについて

運転の内容	もっと詳しく

ハウスキープ

加湿運転後、不要になった湿気を取り除くために除湿運転を行います。

◎ハウスキープ

運転ランプ 橙→黄

運転モード

水タンクに入れる水の量は、水タンクの表示にしたがってください。▶17ページ

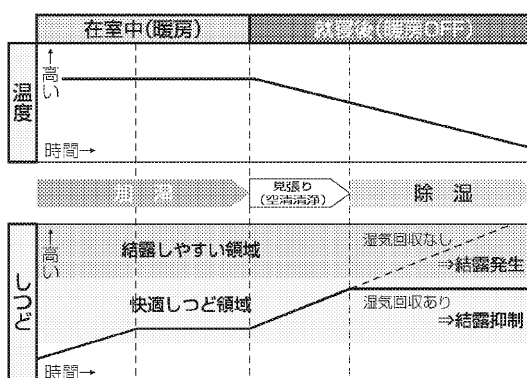
風量

自動になります

<おすすめ時期>
結露が気になる季節に

しつどを見張って湿気回収

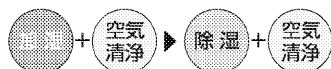
- 就寝後、室内温度が下がって相対しつどが上昇し、結露が発生しやすい状況になると、自動的に除湿運転を開始します。
- 相対しつどが上昇しない場合は、除湿運転に入りません。
- **除湿運転後は加湿運転を行いません。加湿運転を行う場合は、水タンクの水を交換してから、水交換リセットボタンを押して運転してください。**
- 除湿運転していても外気に面した窓ガラスや風通しの悪い場所（家具の裏側など）は結露したりカビが発生することがあります。

■ハウスキープの運転イメージ

水de脱臭

加湿運転と除湿運転を自動で切り換えて、お部屋にしみ付いたニオイをしっかり取り除きます。

◎水 de 脱 臭

運転ランプ 橙→黄

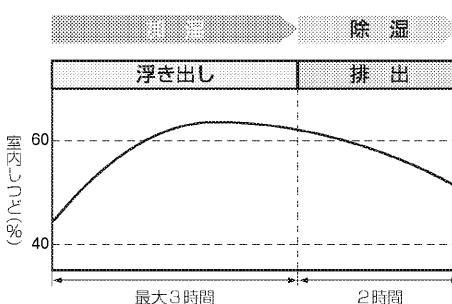
運転モード

風量

「強」または「ターボ」を選ぶ

水タンクに入れる水の量の目安は、ハウスキープ運転給水位置です。▶17ページ

<おすすめ時期>
オールシーズン

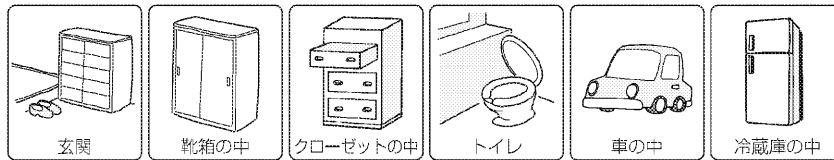
- 壁（布）の中にしみ付いたニオイをお部屋のしつどを高くすることで浮き出させ、出てきたニオイを湿気と一緒に取り除きます。
- 水de脱臭運転を開始してから最大約5時間運転します。
  水de脱臭運転を開始してから約3時間後に「加湿」から「除湿」に切り換わります。
- お部屋の環境により準備運転の時間が異なる場合があります。

■水 de 脱臭の運転イメージ

- お部屋に人がいないときにご使用されることをおすすめします。

脱臭カートリッジの使いかた

■本体から取り出して、離れた場所を脱臭できる脱臭カートリッジです。
ストリーマポケットで再生運転を行うことで脱臭力が再生し、繰り返し使用できます。

用途 こんな場所に使用できます。

冷蔵室用
(冷凍室には使用できません)

● 火気の近くや直射日光、高温多湿の場所でのご使用、保管は避けてください。

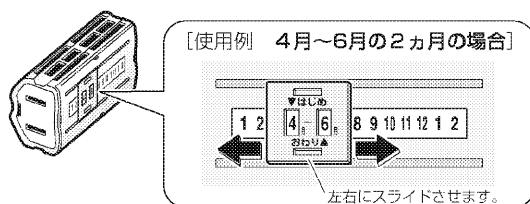
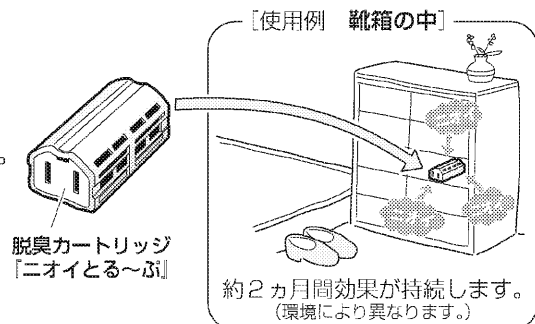
【冷蔵庫用としてお使いの場合】
- ● 冷蔵室(1個につき450Lまで)で、お使いください。
- ● 衛生上、冷蔵庫専用としてお使いください。
- ● 食品に直接触れないように設置してください。
- ● 冷凍室ではお使いいただけません。
- ● 冷たい場所から暖かい場所に移動すると、ケースが結露することがあります。
- ● 結露して水滴が付いた場合は、やわらかい布で水分をふき取り、自然乾燥してからご使用ください。

【自動車用としてお使いの場合】
- ● 運転時の視界を妨げる場所には置かないでください。
- ● ペダル操作の妨げになるおそれがあるので、運転席のシート下には置かないでください。
- ● 変形のおそれがあるので、ダッシュボードなど高温になる場所には置かないでください。

ご使用について

①袋から脱臭カートリッジを取り出す。
● そのままでもお使いいただけますが、再生運転してから設置するとより効果があります。

◎内容量:脱臭触媒フィルター1個
◎成　分:光触媒(チタンアパタイト)、活性炭

②脱臭カートリッジの裏面に使用開始月を設定する。

(左側の穴を使用開始に合わせると右側の穴に次回の再生めやす時期が表示されます。)

使用期間のめやす	約2ヵ月
推奨広さ	1畳程度の空間

周囲のニオイを吸着して取り除く方式のため、広い場所で使用すると、十分な効果が得られない場合があります。

③ニオイの気になる場所へ置く。

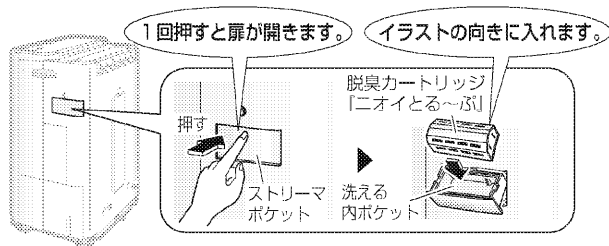
約2ヵ月間効果が持続します。
(環境により異なります。)

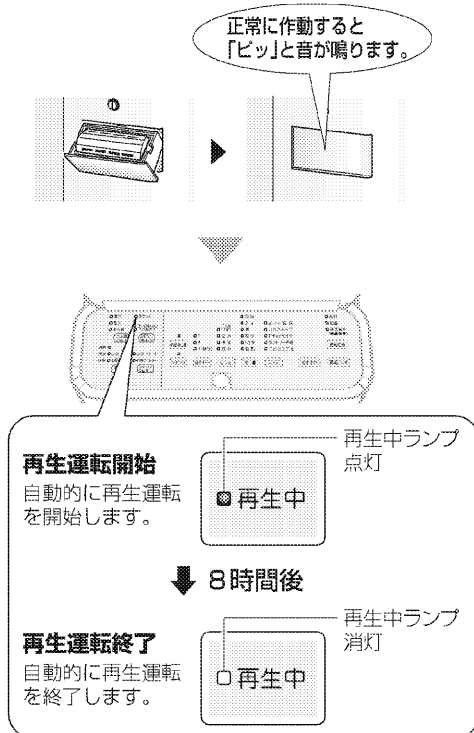
お願い

- ● 脱臭カートリッジは食べられません。誤って食べると、重症になる場合がありますので、お子様がおられるご家族の方は手の届かないところに置くなど、特にご注意ください。万一、間違って食べた場合は医師にご相談ください。
- ● 他の芳香剤、消臭剤、防虫剤などと併用しないでください。
- ● ペットのいたずらにご注意ください。
- ● 衣類などが本体に触れると色移りする可能性がありますのでご注意ください。
- ● 用途以外に使用しないでください。
- ● 分解しないでください。
- ● 脱臭カートリッジは本体の補助機能ですので、通常の室内やニオイの強い場所では本体をお使いください。
- ● 脱臭カートリッジをストリーマポケットに入れたまま本体を使用しても問題ありません。

再生のしかた ストリーマポケットで再生運転を行ってください。
再生運転を定期的に行わない場合は、十分な効果が得られないことがあります。

手順	お知らせとお願い

1 ストリーマポケットを開けて、脱臭カートリッジを入れる。

- 再生するときは、必ず内ポケットを使用してください。
- ストリーマポケットには脱臭カートリッジ以外のものは入れないでください。故障の原因になります。
- 結露などで水分を含んだ状態では再生運転しないでください。ぬれたまま再生すると故障の原因になります。

2 ストリーマポケットを閉じる。

再生運転終了後、脱臭カートリッジを取り出し、もとの場所に置く。

- ストリーマポケットは開けたまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ストリーマポケットはロックできます。(▶9ページ)
- 再生運転開始時には、再生中ランプが点灯していることを確認してください。
- 再生運転は、電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、空気清浄運転を行っていないときでも行います。
- 再生運転中に前面パネルを開けたり電源プラグをコンセントから抜いたりした場合、安全のため再生運転は停止します。そのとき、再生運転の時間はリセットされます。もう一度再生運転を行いたいときは、ストリーマポケットをいったん開けてから、再び閉じてください。
- 再生運転をしても、使用環境や経年変化により脱臭効果は100%にもどらない場合があります。
- 脱臭カートリッジは約200回再生できます。（環境により異なります。）

■主な運転条件

	再生運転
空気清浄運転中	開始する
空気清浄停止中	開始する（送風ファンが動き、吹出口から微風が出ます。）
チャイルドロック中	開始する
コンセントを抜いている 前面パネルが開いている	しない

脱臭カートリッジと洗える内ポケットのお手入れは(▶29ページ)

お手入れ早見表

⚠ 警告
- お手入れの前には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。（感電やけがの原因）

お手入れの際の各部品の取外しは、数字の順番に行ってください。

対向極板
イオン化枠
イオン化線

1 前面パネル	2 プレフィルター	3 ユニット１（プラズマイオン化部）	4 ユニット２（ストリーマユニット）
汚れの気になるときに	2週間に１度	（上図は対向極板を取り外しています。）「ユニット１」ランプが点灯したら	「ユニット２」ランプが点灯したらまたは、ストリーマ放電の音質が変わったり、小さくなったら
ふき取り	そうじき　水洗い	つけおき	つけおき
▶28ページ	▶30ページ	▶34, 35ページ	▶34, 35ページ

点検ランプまたはおしらせランプが点灯したら、操作パネルでお手入れ箇所を確認してください。
- 加湿フィルターランプ、空清フィルターランプ、ユニット１・２ ランプ、満水、給水、水交換ランプのいずれかが点灯・点滅しています。（満水、給水、水交換ランプ点灯時、点検ランプは点灯しません。）